

第〇学年〇組 技術・家庭科学習指導案

令和 7 年〇月〇日 〇曜日 第〇時 (技術室)

指導者 〇 〇 〇 〇

1 題 材 生物育成の技術による問題解決

2 題材の目標

- (1) 植物の成長の状態に合わせて、適切な管理作業を行う技能を身に付けることができる。
- (2) 「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定し、それに対する改善および修正の力を身に付けることができる。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組み、振り返って改善しようとする。

3 学習の計画 (8時間完了)

- 第1次 第1時 生物を育てる技術と私たちの関わりについて調べ、これからの生物育生について考える。
- 第2次 第2時 (本時) 生物を育てる目的を考え、生物の成長に合わせた栽培計画を立てる。
- 第3時 栽培の準備をする。
- 第4時～第7時 成長の状態に合わせて生物を管理し、栽培記録にまとめる。
- 第3次 第8時 生物育成の技術による問題解決方法を振り返り、改善・修正する方法について考える。

4 本時の学習指導

- (1) 目 標
  - 栽培する植物に適した栽培条件や管理方法を知り、栽培計画を立てることができる。
- (2) 準備・資料
  - 教師……ワークシート、タブレット端末
- (3) 関 連
 

2年 理科 光合成と葉のつくり
- (4) 学習過程

段階	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項
つかむ	1 栽培する目的を考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 野菜を育てて食べる</li> <li>・ 花を育てて飾る</li> </ul> 2 本時の学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             生物の成長に合わせた育成計画を立てよう。           </div>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 野菜や鉢植えの草花を用意し、栽培目的の違いに気付かせる。</li> <li>○ 栽培計画表を作成する理由を伝える。</li> </ul>
確かめる	3 育成計画を立てる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 栽培する植物を決定する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ パンジー</li> <li>・ ミニトマト</li> <li>・ ダイコン</li> <li>・ 菊</li> </ul> </li> </ol>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科書 P. 110、P. 111 の栽培カレンダーを見て、自分が栽培したいと思う作物を選ばせる。</li> <li>○ 栽培時期は、同じになるようにする。</li> <li>○ 学校での栽培が可能かどうかを栽培場所</li> </ul>

確 か め る	<p>(2) 育成計画を立てるために必要な内容を調べ、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準備するもの <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土、肥料、種、苗、容器、支柱、ひも、移植ごて</li> </ul> </li> <li>○ 植物を管理する作業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 種まき、間引き、移植、定植</li> <li>・ 摘芽、摘芯</li> <li>・ 支柱立て、誘引</li> </ul> </li> <li>○ 環境を管理する作業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土作り、かん水、元肥、追肥</li> <li>・ 病虫害の防除</li> </ul> </li> </ul>	20	<p>などから検討させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 栽培する植物によって準備するものや管理作業が異なることを確認する。</li> <li>○ 用意した資料やインターネットなどを利用して調べさせる。</li> <li>○ 調べた内容をワークシートに記入させる。</li> <li>○ グループになって話し合わせ、課題や注意することはないか確認させる。</li> </ul> <p>評栽培計画に必要な内容について資料などを用いて調べている。(ワークシート)</p>
深 め る	<p>(3) 栽培計画表を完成させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土作り、種まき</li> <li>・ 移植時期、定植時期</li> <li>・ かん水、元肥、追肥</li> <li>・ 摘芽、摘心</li> <li>・ 収穫</li> </ul>	40	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種の管理作業をできるだけ細かく記入させる。</li> <li>○ 授業のみでなく日頃の管理も大切であることを確認する。</li> </ul> <p>評調べた内容を生かして栽培計画表を作成している。(ワークシート)</p>
ま と め る	<p>4 本時の振り返り。</p> <p>(1) 栽培計画表を発表する。</p> <p>(2) 本時の自己評価をする。</p>	50	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数種類の栽培計画表を発表させ、栽培方法の違いに気付かせる。</li> <li>○ 本時の自己評価をワークシートに文章で書かせる。</li> </ul>

#### (5) 本時の評価規準

- 育成計画を立てるために必要な内容を資料などを用いて調べ、調べた知識や技術を生かして栽培計画表を作成している。(ワークシート)

### 5 備 考

#### (1) 学級の実態

- 作物の栽培体験については、小学校で行ったアサガオの体験ぐらいしか覚えていない生徒がほとんどであり、家庭で日常的に栽培をしている生徒はほとんどいない。このことから、作物を育てた経験はあるものの、水やり程度の知識しかないことが分かる。しかし、中学生となり心が成長してきたこの時期は、多くの生徒は作物を育てることに興味を示すようになり、興味をもって育成技術が学べると考える。

#### (2) 指導の力点

- 栽培計画表を作成することで、生徒がその後の管理作業を見通しをもって行えるよう、計画表の内容について指導・助言を行いたい。また、作成した栽培計画表が、育成作業を振り返る際に栽培計画表の内容とその効果について評価したり、次に生物を育成する機会に学んだことを生かす活動につなげたりするものになるよう指導・助言していきたい。

### 6 指導と評価